加賀市立錦城東小学校　学校便り

きんひが通信

令和２年２月６日
＜第４１号＞
校長　平塚智康

「愛されて育った実感」を子どもの心に刻む

今、２年生が、生活科で「あしたへジャンプ」という学習に取り組んでいます。この学習のねらいは、**「多くの人々の支えによって、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、自分の良さや可能性に気づく」**ということです。

その学習の過程で、自分の生まれた頃のことを調べて発表していました。今日は、その中から、いくつかを紹介したいと思います。

紹介①

【生まれたとき、赤ちゃんのときのようす（おうちの人へのインタビュー）】

わたしが生まれるよていは 12 月だったけど、すごく早く生まれて、体がすごく小さくて、長い間びょういんにいました。家族は、ずっと心ぱいだったけど、たいいんできたときはあんしんしました。

【思ったこと】

ママがすごく大へんだと思いました。わたしも、大人になったら大へんになるけど、がんばります。これからもママといっしょにいたいと思います。

紹介②

【生まれたとき、赤ちゃんのときのようす（おうちの人へのインタビュー）】

よてい日より 2 か月早くうまれそうになったので、きゅうきゅう車ではこばれました。ママは、ちがいっぱいでたので、ぼくはたすからないかもしれないと先生にいわれたので、パパはとってもしんぱいしました。でも、ぶじに生まれてきてくれて、なみだがでました。はじめて、ぼくを見たときは、とっても小さくて、点てきにつながれていて、びっくりしたけど、うごいていてとてもうれしかったです。

【思ったこと】

自分が体じゅう 1686 グラムで、こんなに小さいことがわかりました。ママとパパのきもちがわかりました。ぼくをたいせつにしていたきもちがわかりました。

㊥　人にはそれぞれいろんなドラマがあります。それぞれの誕生にもドラマがあり、感動しました。２年生の子どもたちにも、それぞれ誕生や成長のいろんなドラマがあったことが伝わってきます。２年生ばかりでなく、どの学年においても、誕生日・卒業式などの節目や、何か機会を見つけて、「あなたたちは、多くの人たちに愛され、支えられながら成長してきたんだよ。」というメッセージを、子どもたちにしっかり伝えてあげたいものです。愛されて育った実感をしっかりと心に刻めている子は、将来どんな逆境や挫折に出会おうとも、ふらふらと寄り道することがあったとしても、なんとか踏ん張って生きていけるんじゃないかなと、私は思っています。

きんひがに『なまはげ』あらわる！

２月３日は節分です。この日、きんひがに「なまはげ」がやって来ました。

「なまはげ」は怠惰や不和などの悪事をいましめ、災いをはらいにやって来る来訪神です。秋田県男鹿半島の「なまはげ」、石川県能登半島の「あまめはぎ」などが有名です。

きんひがにやって来た「なまはげ」も、各教室をまわり、「友達をいじめる悪い子はいないか」「勉強をなまけている子はいないか」「忘れ物の多い子はいないか」「先生の話を聞いていない子はいないか」「夜遅くまでゲームやユーチューブをやっている子はいないか」・・・などと子どもたちを戒めていました。そして、子どもたちは、「なまはげ」に、「友達となかよくします。しっかり勉強して、いい子になります。」と約束していました。

男鹿半島や能登半島に伝わる「なまはげ」や「あまめはぎ」の行事は、日本の教育や子育てにとって極めて重要な役割を果たしてきたと、私は考えています。人間は、成長とともに、いつしか傲慢になったり、ずる賢くなったりするものです。しかし、幼児期に、「なまはげ」や「節分の鬼」らによって、自分自身の中にある傲慢や不遜・怠惰等を戒められるという、強烈な体験を経ることによって、人間の力を超える神や自然に対する畏敬の念を、自分の心の奥底に宿すことができるのではないかと思うのです。そのことは、教育や子育てにとって、とても大切なことだと私は考えています。

私は、「なまはげ」を体験したことはありませんが、幼い頃、祖父母から、鬼や神様、閻魔様などの説話をよく聞かされました。そして、悪いことをしたら鬼や神様に懲らしめられる、という想念が脳や心に強くインプットされた気がします。しかし、祖父母から聞く鬼や神様は、ただ怖いだけの存在ではなく、善い行いもちゃんと見ていてくれて、善い行いをしていれば、その人にふりかかる災いを払ってくれる優しくありがたい存在でした。

給食の時間、各教室を回っていると、１ 年生の教室では「さっき『なまはげ』が来たんや。あれって、校長先生やろ？」、２ 年生や ３ 年生の教室では、「声が校長先生やった。声でわかったわ。もうばれとるよ。」・・・かわいらしい反応がたくさん返ってきました。笑顔で楽しそうに鬼の襲来のことを話す子どもたちを見ながら、人間の傲慢・不遜・怠惰等をしっかり戒められる教育者であると同時に、子どもたちの善い行いを見つけて、子どもたちにふりかかる災いを払いのけてあげられる、そんな「なまはげ」になりたいと思う私でした。